

# 令和7年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「自立と社会参加」をめざし、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに対応した授業を実践する。</li> <li>○自分も他者も大切にし、共感的な人間関係を育成する教育活動を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ICT 機器等を活用し、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた授業を実践する。</li> <li>②協働的な学びを通して、児童・生徒が自分や他者の良さに気づき、共感しあえる授業を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①電子黒板も含めたICT 機器等の活用のバリエーションを増やし、個々のニーズを踏まえ、授業で活用する。</li> <li>②指導略案に児童・生徒相互が関わる場面を明記し、授業を実践する。話し合い等、児童・生徒が相互に関わる授業を増やす。</li> </ul>	<p>①児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、ICT 機器を活用した授業が増えたか。</p> <p>②協働的な学習を通して、児童・生徒が相互に理解し、自分や他者の良さに気づくことができたか。</p>
2	児童・生徒 指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりの教育的ニーズを捉え、根拠に基づいた組織的な指導・支援の充実を図る。</li> <li>○教育活動全体で人権尊重の視点に立ち児童・生徒が安全で安心して過ごせる学校づくりに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①アセスメントに基づいた個別教育計画の改善と指導への活用を組織的に進める。</li> <li>②保護者、教員、児童・生徒それぞれが、人権感覚を持ち、互いに尊重しあい、安心できる学級づくりに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各学部・部門の実態を踏まえたアセスメントを実施し、組織的に授業実践に生かす仕組みづくりを検討する。</li> <li>②不祥事防止研修において、人権尊重の視点の目標を学級ごとにたて、日常の授業に生かすとともに、振り返りを行う。</li> </ul>	<p>①アセスメントの結果を踏まえ、専門職等の意見を個別教育計画に取り入れ、ニーズに応じた授業を実践できたか。</p> <p>②学級ごとにたてた目標を踏まえ、人権を尊重した学級運営ができたか。</p>
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリア教育の視点をもち、児童・生徒が地域で豊かに暮らし、働くことを見据えた教育活動を展開する。</li> <li>○児童生徒のニーズや適性に応じた、自己選択・自己決定のための継続した指導・支援に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①卒業後の生活を見通し、学校生活の中で身に付けてほしい力について共通理解をもつて指導する。</li> <li>②児童・生徒や保護者が卒業後の生活をイメージし、自ら進路選択・決定をするための進路指導・支援システムを検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①卒業後の生活を見通し、学校生活において身に付けてほしい力について、学部・部門で共有する。</li> <li>②進路先見学や卒業生の話を聞くことや、せやみつミーティングを通して、ニーズに応じた情報提供をする。</li> </ul>	<p>①各学部・部門で児童・生徒に身に付けてほしい力の共通理解がもてたか。</p> <p>②児童・生徒や保護者が、進路先について理解をし、ニーズに応じた進路選択・決定ができたか。</p>
4	地域等との協働	○学校コンサルテーションを基盤としたセンター的機能の充実を図り、校内・地域におけるインクルーシブな学校づくりを推進する。	①児童・生徒の卒業後を見据え、地域行事の参加や地域の学校との連携・交流等により、地域への学校理解をすすめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校の取組や役割を地域に発信する機会を増やす。</li> <li>②パラスポーツ等を通して、地域との連携・交流をすすめる。</li> </ul>	<p>①学校の役割や取り組みを発信する機会が増えたか。</p> <p>②パラスポーツによる地域との交流の機会が増えたか。</p>

		<p>○安全・安心な教育環境の整備に取り組む。</p> <p>○教職員の資質・指導力・専門性の向上を目指し、人材育成と不祥事防止に重点をおき、信頼と期待に応える学校運営と組織づくりを行う。</p> <p>○組織的な業務の効率化を図る。</p>	<p>①学校の防災体制を見直し、再構築する。</p> <p>②年間を通して不祥事の未然防止につながる情報共有を計画的に行う。</p> <p>③教育環境の整備、スリム化を進めるとともに、業務の見直し、削減を行うことで、職員の時間外労働を月45時間未満にする。</p>	<p>①校内の防災体制を見直し、整理するとともに、地域と防災体制の情報共有を図る。</p> <p>②ヒヤリハットを報告しやすい環境を作り、事例の共有を行う。</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オフィス改善を踏まえ、学校全体で業務の見直しを図るとともにTeamsの活用により、会議の整理やペーパーレス化をすすめる。</li> <li>• 業務内容を取捨選択し、整理する。</li> </ul>	<p>①地域防災についての情報共有が進み、本校の防災体制の見直しが図れたか。</p> <p>②ヒヤリハット段階の報告数が増え、事故の未然防止に繋がったか。</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ペーパーレス化が進んだか。</li> <li>• 45時間以上の時間外労働職員が減ったか。</li> <li>• 業務内容の取捨選択ができたか。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営				